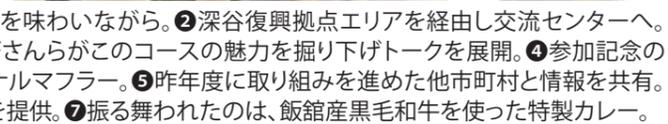


歩いて楽しむ復興探究事業『フットパスコース』お披露目イベント



村は今年度、福島県観光物産交流協会が進める「フットパス造成事業」に取り組んでいます。「フットパス」とは「地域のありのままの風景を楽しみながら歩くことができる小径」のことです。村のコースづくりは7月からスタートし、村民委員の協力も得て、村らしさが味わえる、歩いて楽しいコースを策定しました。12月2日には、コースのお披露目イベントが開催され、関係者や一般参加者約40人がフットパスコースを実際に歩いて楽しみました。

ゴールの交流センター「ふれ愛館」では、安達太良山の山小屋「くろがね小屋」のカレーが振る舞われ、参加者がコースの感想やフットパスの魅力を語り合いました。



①綿津見神社の階段を登る参加者。厳かな雰囲気味わいながら。②深谷復興拠点エリアを経由し交流センターへ。③特別ゲストとして参加していたタレントのなすびさんらがこのコースの魅力を掘り下げトークを展開。④参加記念のプレゼントは、イイタネちゃんが刺繍されたオリジナルマフラー。⑤昨年度に取り組みを進めた他市町村と情報を共有。⑥「くろがね小屋」管理者が来館し参加者にカレーを提供。⑦振る舞われたのは、飯館産黒毛和牛を使った特製カレー。

第6次総合振興計画 後期計画 審議会が答申書を提出



「村民と目標を共有できる、よりよい計画に」と杉岡村長へ答申書を提出する高橋会長(深谷)。

「第6次総合振興計画後期計画」の策定に向け、諮問事項の検討を行ってきた「第6次総合振興計画審議会」の答申がまとめられ、12月1日、高橋祐一会長(深谷)より村長に答申書が提出されました。村民や有識者から構成される同審議会は、住民懇談会やパブリックコメントで村民から出された意見を踏まえ、2度にわたる会議で計画案を審議しました。

答申を受けて、村は「第6次総合振興計画後期計画(案)」を12月議会に提出。承認を受け、同後期計画は成案となりました。

第5回飯館YOITOKO発見!ツアー

11月26日、『第5回飯館YOITOKO発見!ツアー』を開催しました。『村内1日体験バスツアー』との合同開催で、村内外の31人が参加しました。

長泥地区では白鳥神社や、環境省が実施する「長泥地区環境再生事業」の現場を視察。長泥コミュニティセンターで行われた詩人・和合亮一さんによる詩作のワークショップでは、見て来たばかりの長泥の光景を詩に詠む人もいました。午後は、上飯樋地区に伝わる「宮仲の神楽」を鑑賞し、山田豊さん(関根・松塚)が経営する精肉店「肉のゆーとびあ」で飯館産黒毛和牛を試食。参加者の皆さんは、それぞれの場面で復興の動きを実感し、想いを語り合っていました。



①長泥地区の白鳥神社にて。前区長で神社の維持に尽力した鳴原良友さんから話を聞きました。②環境再生事業の実証を行う花卉ハウスを視察。③和合亮一さんのワークショップ。④「肉のゆーとびあ」にて。

交流センター自主文化事業 クリスマスコンサート



12月9日、交流センター「ふれ愛館」でクリスマスコンサートが開かれました。福島高校ジャズ研究部のフレッシュな演奏で開幕したのに続き、同部出身のギタリスト・浅利史花さんが登場。オリジナル曲を含むジャズのナンバーを披露しました。さらには4年連続の出演となる近藤淳さんらが加わりクリスマスソングの数々を演奏。ドリンクとお菓子が用意された客席には約60人が集い、上質な音楽に包まれ交流のひとときを楽しみました。

「浅利史花カルテット」

ギタリストの浅利さんはじめ一線で活躍するアーティストが出演。

近藤淳さんをヴォーカルに迎えて。

「浅利史花カルテット」と福島高校ジャズ研究部のセッション。